

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		5-	7
事業名	戸籍住民基本台帳経費	会計	款	項	目
		一般	2	3	1
施策	6 語らいのあるまち	課名	町民課		
	6-4 行財政運営の充実したまちをつくる	係名	戸籍住基係		
	6-4-1 町民サービスの向上				
主要施策	④町民サービスの向上				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	戸籍、住民基本台帳、印鑑登録業務等を法令のとおり正しく事務遂行する。
事業内容	戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、個人番号カード、中长期在留者、特別在留者関係に関する事務。コンビニ交付サービス…平成29年1月から「個人番号カード(マイナンバーカード)」を取得した住民がコンビニエンスストア等で各種証明書を取得できるようになった。個人番号カードの申請補助や申請時来庁方式も開始し、より一層の個人番号カード普及を目指す。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度(目標)
	1	マイナンバーカードの交付率	13.48	15.64	29.3	%	↑
2							
3							
4							
5							
			令和元年度(決算)	令和2年度(決算)			令和3年度(予算)
全体事業費(千円) A+B				34,901	61,158		59,065
財源内訳	直接事業費 A			19,883	46,140		44,047
	うち一般財源			7,399	15,535		19,373
人件費(千円) B				15,018	15,018		15,018
内訳	一般職員(人・千円)		1.73	11418	1.73	11418	1.73 11418
	臨時職員(人・千円)		2	3600	2	3600	2 3600

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	戸籍、住民登録等については例年どおり正確な事務の遂行を行い、マイナンバーカードの取得率向上を目指す。	③取組の課題	マイナンバーカード交付事務にかかる来庁者が増え非常に混雑しているが、今後の国の政策如何によっては、さらにカード登録申請が増える可能性が懸念される。
②R2年度に実施した取り組み	外国人への窓口対応について、よりスムーズな対応をおこなうため、翻訳機を1台購入し活用している。	④今後の改善計画	今後の組織改編によって、H30年度に行った総合窓口PTの提言を進めていく。